

「サステナビリティ基本方針」と「CSR活動指針」の策定

阪神高速グループは、社会情勢の変化や社会の潮流を敏感に捉え、社会を構成する一員として、「サステナビリティ」を共通の価値観と認識し、グループ理念のもと、持続可能な社会の実現に貢献し、持続可能な企業価値の向上を目指すため、2023年1月に新たに「サステナビリティ基本方針」と「CSR活動指針」を定めました。これらは、社会を構成する一員としての、サステナビリティへの基本姿勢を示すものです。

サステナビリティ基本方針

環境・社会課題がグローバルに拡大し、社会全体で課題を解決することが求められている現代社会において、阪神高速グループも社会を構成する一員として、「サステナビリティ」を共通の価値観と認識し、「私たちのCSR=企業の基本的な責任にとどまらず、社会の要請や期待に対してグループ一体となって柔軟に応えていくこと」を実践することで、一人ひとりが輝き、多様な豊かさにつながる持続可能な社会の実現に貢献し、自らも持続的に進化・成長することを目指します。

CSR活動指針

阪神高速グループは、自社を取り巻く社会の要請や期待、変化を感性鋭く捉え、グループ一体となって柔軟に応えていくために、すべてのステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを図りながら、以下の3つの活動を推進します。活動にあたっては、SDGs（持続可能な開発目標）を羅針盤として関連付けるとともに、ESG（環境・社会・企業統治）を重視して取り組みます。

・ 3つの活動内容 ・

企業存続の基礎活動（コンプライアンス、リスクマネジメント、情報セキュリティ等）を徹底します

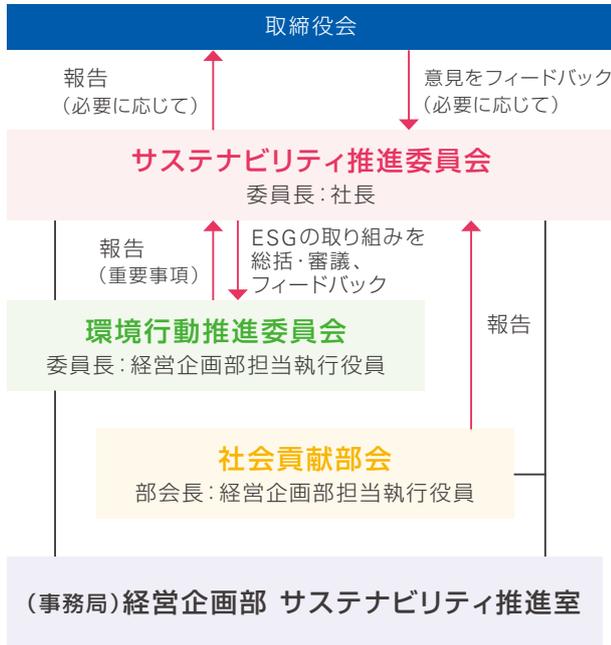
高速道路事業の深化・進化、関連事業のさらなる展開を図ります

経営資源（ヒト、モノ、ノウハウ等）を生かし、「安全・安心」「人づくり」「地域・社会の活性化」「環境」を重点テーマとした社会貢献活動を実施します

推進体制

阪神高速グループでは、これまで「CSR推進委員会」を通じて、CSRマネジメントを推進してきました。2022年度は、主にサステナビリティ経営推進に向けた議論を行い、2023年1月に同委員会を発展的に改め、「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。そして、その傘下に「環境行動推進委員会」および「社会貢献部会」を設置し、これらの体制のもと、事務局である経営企画部サステナビリティ推進室が中心となって活動主体である社内各部署やグループ各社と日常的に連携・調整を図りながら、持続可能な社会の実現と持続的な企業価値向上を目指していきます。

推進体制図



各委員会の役割

サステナビリティ推進委員会
サステナビリティに関する基本的方針や
主要な取り組みの推進に関する審議などを実施

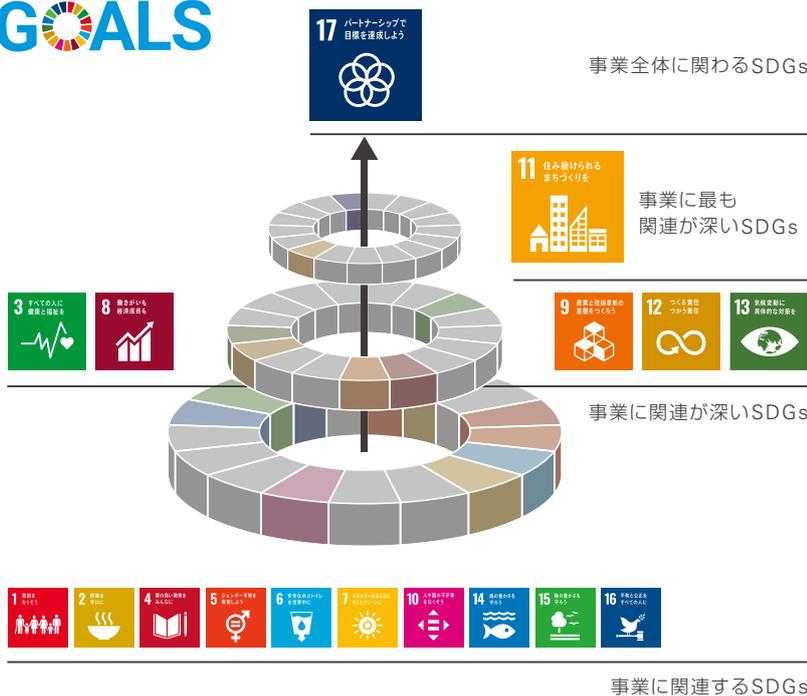
環境行動推進委員会
地球環境の保全に係る取り組みに関する
審議などを実施

社会貢献部会
社会貢献活動に係る個別事案の審議を実施

阪神高速グループの事業とSDGsとの関係

阪神高速グループの事業とSDGsとの関連を踏まえ、SDGsとの関係をこのように整理しています。

当社グループでは、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」を意識しつつ、事業と最も関連の深い目標11「住み続けられるまちづくりを」を中心に、すべてのSDGs目標の達成に貢献します。



各目標への取り組み内容

事業に最も関連が深いSDGs

11 リニューアル工事、渋滞対策、
ネットワーク整備など

事業に関連が深いSDGs

- 3** 交通安全対策など
- 8** 働き方改革など
- 9** 産官学技術連携による技術開発など
- 12** 建設資材などのリサイクル
- 13** 災害対応力の強化など

事業に関連するSDGs

- 4** 学校での総合学習などへの支援など
- 7** 道路照明設備のLED化など
- 15** 阪神高速グループの森づくり
- 16** 入札談合など
収賄行為の防止